

整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

偏心性寛骨臼回転骨切り術と非偏心性寛骨臼回転骨切り術における術後成績の比較検討

[研究機関] 北海道大学病院整形外科

[研究責任者] 入江 徹 （整形外科・助教）

[研究の目的] 手術の際に股関節の回転中心と骨盤骨切りの回転中心をずらして(偏心性)骨を切ることにより、術後股関節中心が遠位・内側に移動することによって、脚の長さや筋力を維持する効果があることを評価することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

寛骨臼形成不全症の患者さんで平成10年4月1日から平成27年1月13日までの間に当科で寛骨臼回転骨切り術または偏心性寛骨臼回転骨切り術を施行された方

●利用するカルテ情報

診断名（寛骨臼形成不全症）、年齢、性別、身長、体重、合併症の有無、レントゲン写真またはCT、MRI画像、各種臨床スコア、人工関節への移行の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院整形外科 担当医師 入江 徹

電話 011-716-1161 FAX 011-706-6054